新人紹介

四月一日より木曽森林組合に採用された木曽町日義出身の上垣外浩平と申します。

林業という未知の世界に足を踏み入れてから四ヵ月が経ちました。採用当初は右も左も分からず、期待よりも不安ばかりでしたが、上司や先輩方に日頃から優しくご指導頂き、組合では施業集約化（詳しくは三ページ）推進補助員として、主に森林の調査や測量、地区懇談会等を中心に取組んでいます。

また組合員様や地権者の皆様と触れ合うことで、現在は日々楽しく業務に携わっています。

まだまだ覚えなければならない事が沢山ありますが、今後もより一層努力精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

集約化施業推進補助員研修

人事のお知らせ

【退　職】

技能職員

三月三十一日付

代田　隆史（福島造林班）

大豆　一雄（三岳造林班）

【採　用】

技能職員　緑の雇用

奥谷　剛（福島造林班）

四月一日付

◇集約化施業推進補助員

上垣外浩平（森林整備課）

◇作業路網整備技術者

塚原　賢二（林産班）

作業路網整備技術者研修

緑の雇用

組合からのお願い ～各種手続について～

組合員であった人が死亡、または相続により変更があった場合は…

「組合員名義変更届」の手続を行います。

また、管外への転出などにより、今後組合を利用する見込みがなくなった場合は、「脱退」等の手続もできますので、ご連絡をお願い致します。

緑の雇用

あとがき

今年の夏は、木曽でも毎日三〇度を超す猛暑となりました。また、昨年に続きゲリラ豪雨という突然の集中豪雨による被害も尋常ではありません。

それにしても、温暖化は容赦なく進行しており、世界の各地で異常気象による洪水や森林火災が発生しています。

ロシアでは気温の上昇により永久凍土が急速に溶け出し、氷河期に絶滅したマンモスが冷凍保存の綺麗な状態で発見されたというドキュメント番組がありました。「科学的には嬉しい発見だが、地球的には悲しい事実だ。」と語ったリポーターの感想が印象的でした。

この温暖化防止のためにも、健全な森林を育成していくことが、私たち森林組合の使命であると考えます。